

飛驒牛の競り見学

米の輸入業者 J A 飛驒ミート訪問

米国の輸入業者らが、村本修社長ら4人。飛驒21日、和牛の処理・加工・卸売を行うJ A 飛驒ミート(高山市八日町)を訪問し、施設を見学した。

訪れたのは、食肉専門のインターネット通販会社を営むジョー・ヘイツバーグさん(44)と、同国で毎年100ト以上の和牛を輸入している「P&Z FINE FOODS」の

村本修社長ら4人。飛驒牛の認知度向上につなぐと、県農林水産物輸出促進協議会が招いた。

一行は飛驒牛の競りを見学した後、施設の概要について説明を受けた。同行したJ A 全農岐阜の担当者によると、飛驒牛の輸出は東南アジア向けが最も多く、米国向けはまだ伸びしろがあるという。



職員の説明を熱心に聞く村本修さん(左)とジョー・ヘイツバーグさん(右)＝高山市八日町、J A 飛驒ミート

県畜産研究所(同市の飛驒牛生産農家も訪清見町牧ヶ洞)や市内一問した。(稲木悠司)